



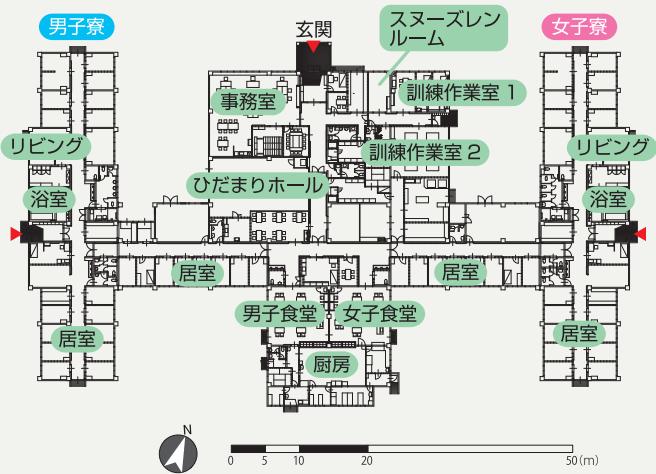
**社会福祉法人
岩手県社会福祉事業団
障がい者支援施設
やさわの園**
施工地／岩手県花巻市高松7-143
竣工年月／平成25年3月
敷地面積／14,699.5m²
延床面積／2,848.3m²
構造／鉄筋コンクリート造平屋建

安全で快適な居住環境

障がい者支援施設やさわの園は言葉などによる意思表示が困難で、日常生活において継続的な支援を必要とする、障がいの重い方々が入所し生活をする施設であります。開所より40年間、利用者一人ひとりの生活をサポートし人権の擁護を基本に利用者の利益を最優先とする支援を行ってまいりました。

これまでの園舎は児童用施設として整備された建物を成人用の施設へと改修し利用していましたが、狭隘化と老朽化が著しく一日も早い安全で機能的な施設整備が待ち望まれてきました。入所者が夢と希望を持ち安心に暮らせる快適な住環境の実現と、地域の多様化する社会福祉に応えるため、新しい「やさわの園」が平成25年4月に開所いたしました。

平面図



周囲に調和する生活環境

既存施設の隣に計画された新園舎は、周囲の山並みや自然豊かな環境に調和するよう華美な装飾を抑え、質素な形態とし、白を基調とした明るく落ち着いた色彩計画により、田園風景の中に溶け込む「家」としての佇まいを表す外観としました。また、内部の諸室や廊下には県産材木材を積極的に活用し温もりが感じられる穏やかな生活環境を構築しております。

施設中央の「ひだまりホール」は施設内行事のみならず地域住民との交流の場として、入所者との交流会や地域の方々との合同研修会など、多目的な利用に対応する空間とし、地域との関わり合いをより深める施設としました。

入所者を支える施設作り

本施設は大きく3つのブロックに分けられ中央部は事務室などの管理部門や食堂・多目的室などの共有部門から構成され、東西両翼には居住棟(男子寮・女子寮)を配置しました。施設内は単純化された動線にあり職員にとって支援しやすい諸室構成となっております。各居室は利用者のプライバシー保護や障がいの状況に配慮して全室個室とし、静かに生活できる空間としながら、居住棟内には入所者が集まるリビングルーム設置し、入所者同士の交流を図るスペースを設けました。訓練作業室には住まいに必要とされるすべての部屋・家具を設置し、自立を図る実習の場とし入所者の訓練を支えます。



居室



ひだまりホール



訓練作業室1



訓練作業室2



浴室



スヌーズレンルーム
(感覚刺激をおこなう癒しの空間)



食堂